

5. オーチャードグラス

(1) ワセミドリ (系統名 北海20号) 1987年

登録番号：(北海道) オーチャードグラス北海道合第6号 (農水省) オーチャードグラス農林合6号 (種苗法) 第1826号

来歴 本品種は農林水産省北海道農業試験場が、北海道及び本州中部以北 (高冷地) に適し、耐病性、越冬性に優れた早生品種の育成を目標に、北海道生態型集団、外国品種などに由来する8栄養系による合成品種法によって育成した。1983年から「北海20号」の系統名で試験を行い、1987年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂期は「キタミドリ」と同等かわずかに遅く、早生品種群に属する。
2. 乾物収量は「キタミドリ」と同程度かやや多収を示す。季節生産性は「キタミドリ」と大差ないが、やや1番草の比率が高い。
3. 越冬性は「キタミドリ」よりやや優れ、晩生の「オ

カミドリ」に近い越冬性を示す。

4. 耐病性は、すじ葉枯病、うどんこ病抵抗性には「キタミドリ」より優れ、その他の病害についても「キタミドリ」より優る抵抗性を示す。
5. 放牧適性は「キタミドリ」と同程度である。
6. 形態は「キタミドリ」やや大型で、1番草の草丈は「キタミドリ」より高く、葉幅、葉身長も「キタミドリ」より大きく、草型は「キタミドリ」よりやや直立型を示す。
7. 飼料成分は1番草の粗繊維含有率が「キタミドリ」よりやや高いが、その他の成分は同程度である。

栽培適地と奨励態度

北海道全域及び本州中部以北の高標高地に適する。栽培利用上の注意は、採草用及び採草・放牧兼用草地に適する。早生で春の草勢が良好なので、春の放牧開始時期を早くする。道東の土壤凍結地帯では年によっては冬枯れを起こす危険性があるので、晩夏の追肥などによって越冬性を向上させることが望ましい。

試験場名	ワセミドリ				キタミドリ				オカミドリ				試験年次
	1年目	2年目	3年目	4年目	1年目	2年目	3年目	4年目	1年目	2年目	3年目	4年目	
北海道農試	101	104	104	103	693	795	532	805	97	96	102	91	1983~1986
天北農試	93	107	101	100	551	1,023	984	881	86	101	101	97	
新得畜試	101	102	99	97	365	1,028	1,197	1,264	98	102	94	98	
北見農試	94	105	109	-	565	848	661	-	91	99	103	-	
根釧農試	91	103	109	-	207	800	539	-	86	97	132	-	
平均	96	104	104	100	476	899	783	98	392	99	106	95	

注) 成績は乾物収量で「キタミドリ」は実収量 (kg/10a)、他は「キタミドリ」対比 (%) である。

参照 1) 北海道農務部編, 昭和62年普及奨励ならびに指導参考事項, 66-69(1987)。

(2) ヘイキングII (系統名 SB-O-7801) 1987年

登録番号：(北海道) オーチャードグラス準北海道第8号

来歴 本品種は雪印種苗株式会社が、採草利用に適し耐病性、耐冬性、多収性の優れた晩生品種の育成を目標に、中生～晩生の4品種を育種材料として合成品種法によって育成した。1984年から各種の試験を行い、1987年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「オカミドリ」より約7日、「ヘイキング」より3日程度遅く、北海道の既存のいずれの品種より

も遅い極晩生種である。

2. 乾物収量は、「オカミドリ」より多収を示し、乾物率は「オカミドリ」と同程度である。
3. 耐病性は雲形病には強くないが、すじ葉枯病、黒さび病には「オカミドリ」より抵抗性を示す。
4. 越冬性は、「オカミドリ」と同程度かやや優り、既存の品種の中で最も越冬性が良好な「ケイ」と「オカミドリ」との間に位置する。
5. 1番草の出穂数は「オカミドリ」より少ない傾向である。
- 6.刈取り時の草丈は「オカミドリ」と同程度で、草型は「オカミドリ」より直立性を示す。

栽培適地と奨励態度

北海道全域に適する。栽培利用上の注意は、オーチャードグラス品種の中では越冬性が優れているがまだ十分と

はいえないので、道東の冬枯れの著しい地域では、初秋の追肥などにより越冬性の向上を図る。1番草の収量が高いので、採草利用に適する。

試験場名	ヘイキングII			オカミドリ			ヘイキング			ケイ			試験年次
	2年目	3年目	合計	2年目	3年目	合計	2年目	3年目	合計	2年目	3年目	合計	
北海道農試	97	106	101	865	637	1,502	91	88	90	96	103	99	1984~1986
中央農試	88	99	95	1,057	1,349	2,406	91	99	95	-	-	-	
滝川畜試	115	121	117	1,118	760	1,878	84	97	89	-	-	-	
新得畜試	113	110	112	1,153	1,354	2,507	-	-	-	94	100	97	
北見農試	98	105	101	1,027	864	1,891	-	-	-	101	110	105	
根釧農試	104	112	106	936	947	1,883	-	-	-	106	109	103	
天北農試	102	114	103	1,261	1,076	2,337	88	107	96	-	-	-	
平均	102	110	105	1,060	998	2,058	89	98	93	99	106	101	

注) 成績は乾物収量で「オカミドリ」は実収量(kg/10a), 他は「オカミドリ」対比(%)である。

参照 1) 北海道農務部編, 昭和62年普及奨励ならびに指導参考事項, 69-71(1987)。

(3) ホクト (系統名 帯広2号) 1987年

登録番号: (北海道) オーチャードグラス準北海道第9号

来歴 本品種はホクレン農業協同組合連合会が、冬枯れ抵抗性、耐病性に優れ多収な晩生品種の育成を目標に、冬枯れが大発生した十勝南部の8カ所の草地から残存個体を収集し、これらを育種母材として集団選抜法により育成した。1984年から「帯広2号」の系統名で道内7場所において試験を行い、1987年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂期は「オカミドリ」より2日程度遅く、「ヘイキング」とほぼ同時期で晩生に属する。
2. 乾物収量は「オカミドリ」と同程度で、季節生産性

や乾物率も「オカミドリ」とほぼ同じである。

3. 耐病性は、雪腐大粒菌核病、すじ葉枯病、雲形病、黒さび病とも「オカミドリ」と同程度の抵抗性を示し、うどんこ病にはやや弱い。
4. 越冬性は、道東地域では「オカミドリ」より優れており、「ケイ」と「オカミドリ」の間に位置する。
5. 草丈やその他の形質は「オカミドリ」と比べて大きな差はみられない。

栽培適地と奨励態度

北海道全域に適する。栽培利用上の注意は、栽培法は「オカミドリ」に準ずるが、早生品種と比べると秋の生長がやや劣るので、放牧利用では秋の放牧強度に注意する。道東の冬枯れの著しい地域では初秋の追肥などにより越冬性の向上を図る。

試験場名	ホクト			オカミドリ			ヘイキング			ケイ			試験年次
	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	
北海道農試	-	93	95	-	865	637	-	91	88	-	96	103	1984~1986
中央農試	-	102	99	-	1,057	1,349	-	91	99	-	-	-	
滝川畜試	-	100	108	-	1,118	760	-	84	97	-	-	-	
天北農試	98	101	103	513	1,257	943	97	88	107	-	-	-	
新得畜試	-	116	103	-	1,153	1,354	-	-	-	94	100	-	
北見農試	-	97	105	-	1,027	864	-	-	-	-	101	110	
根釧農試	94	107	110	541	936	947	-	-	-	87	106	109	
平均	96	102	103	527	1,059	979	97	89	98	87	99	106	

注) 成績は乾物収量で「オカミドリ」は実収量(kg/10a), 他は「オカミドリ」対比(%)である。

参照 1) 北海道農務部編, 昭和62年普及奨励ならびに指導参考事項, 71-74(1987)。

(4) グローラス (系統名 WWH-94) 1993年

登録番号：(北海道) オーチャードグラス準輸合
第10号

来歴 本品種は、スウェーデンのWeibullsholm Plant Breeding Instituteが同社の育成品種「Dactus」からの個体選抜とロシアからの導入材料との交雑、選抜によって育成した。三井東圧化学株式会社が導入し、1990年から「WWH-94」の系統名で、北海道農試他道立5農試で試験を行い、1993年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「オカミドリ」より3～5日遅く、「ヘイキングII」より5～7日早い晩生品種に属する。
2. 越冬性は、現在流通品種の中で最も強いとされる「ケイ」よりも優れる。
3. 耐病性は、すじ葉枯病には「オカミドリ」より強く「ヘイキングII」並、黒さび病に対しては「オカミド

リ」並で「ヘイキングII」より弱く、雲形病については「オカミドリ」や「ヘイキングII」並である。

4. 収量性は、道東地域で冬枯れの発生が大きな年は「オカミドリ」や「ヘイキングII」より優れ、冬枯れの発生が軽微な年には「オカミドリ」や「ヘイキングII」に劣る。道央・道北地域では「オカミドリ」並かやや劣り、「ヘイキングII」並である。

5. 越冬前草勢は「オカミドリ」や「ヘイキングII」よりもやや劣り、秋の被度は良好である。

栽培適地と奨励態度

北海道全域に適し、特に道東の土壤凍結地帯での栽培が期待できる。栽培利用上の注意は、採草及び放牧に利用でき、越冬性は極めて優れているが、道東の冬枯れの著しい所では晩夏の追肥によって、越冬性を向上させることが望ましい。秋の生長は劣るので、放牧利用では秋季放牧強度に注意を要する。

試験場名	3年目乾物収量					3年間合計乾物収量					
	グローラス	オカミドリ	ヘイキングII	ホクト	ケイ	グローラス	オカミドリ	ヘイキングII	ホクト	ケイ	
北海道農試	98	891	101	101	-	99	2,291	101	102	-	
中央農試	94	1,208	90	91	-	92	3,032	92	90	-	
天北農試	100	904	95	100	-	97	2,433	93	99	-	
新得畜試	121	704	109	99	111	100	2,314	94	93	100	
北見農試	121	588	109	101	117	91	2,139	95	95	99	
根釧農試	113	707	109	101	114	95	2,320	98	98	101	
平均	道北・央	97	1,001	95	97	-	96	2,585	95	-	
	道東	118	666	109	100	114	95	2,258	96	95	100

注 1) 試験年次は1990年～1992年である。

2) 成績は「オカミドリ」は実収量 (kg/10a) 他は「オカミドリ」対比 (%) である。

3) 平均の「道北・央」は北海道農試、中央農試、天北農試、「道東」は新得畜試、北見農試、根釧農試の数字である。

参照 1) 北海道農政部編、平成5年普及奨励ならびに指導参考事項、38-40(1993)。

(5) トヨミドリ (系統名 北海25号) 1994年

登録番号：(北海道) オーチャードグラス北海道
合第7号 (農水省) オーチャードグラ
ス農林合7号

来歴 本品種は農林水産省北海道農業試験場が、北海道及び東北北部に適し、極晩生で耐病性、越冬性が優れる極晩生品種の育成を目標に、旧ソ連由来のUJNR導入系統、外国品種、育成系統、保存栄養系に由来する7栄養系による合成品種法によって育成した。1990年から「北海25号」の系統名で各種の試験を行い、1994年に優良品

種となった。

特性概要

1. 草丈は「ヘイキングII」や「オカミドリ」より各番草とも高く、茎数は「ヘイキングII」よりやや少なく、「オカミドリ」よりかなり少ない。

2. 出穂始は、中生品種の「オカミドリ」より全道平均で9日遅く、極晩生品種の「ヘイキングII」より2日早い極晩生群に属する。

3. 越冬性は「ケイ」に次ぐ強さで、「ヘイキングII」よりも強く「オカミドリ」より強い。

4. すじ葉枯病、黒さび病、雲形病抵抗性は「ヘイキン

- グII」並かやや強く、「オカミドリ」より強い。
- 5. 多刈適性は「ヘイキングII」並で「オカミドリ」より劣り、マメ科牧草との競合力は「ヘイキングII」や「オカミドリ」より強く、混播適性は優れている。
- 6. 乾物収量は、「ヘイキングII」より優れ「オカミドリ」と同程度で、番草別収量割合は、「ヘイキングII」並で「オカミドリ」に比べて1番草割合が高く、2・3番草割合は低い。永続性は「ヘイキングII」や「オカミドリ」より優れる。
- 7. 採食性は「オカミドリ」より優れ、植生密度はやや

- 粗であるが、植生推移はほぼ「オカミドリ」並である。
- 8. 乾物率は「ヘイキングII」、「オカミドリ」とほぼ同等で、1番草の乾物分解率は「ヘイキングII」「オカミドリ」に比べて低い。

栽培適地と奨励態度

北海道全域及び東北部に適する。栽培利用上の注意は、採草及び放牧に利用できる。越冬性は優れているが、道東の冬枯れの著しい所では晩夏の追肥によって越冬性を向上させることが望ましい。秋の生長は劣るので、放牧利用では秋季の放牧強度に注意を要する。

試験場名	トヨミドリ				ヘイキングII				オカミドリ				試験年次
	1年目	2年目	3年目	4年目	1年目	2年目	3年目	4年目	1年目	2年目	3年目	4年目	
北海道農試	116	100	104	115	448	972	898	738	111	93	99	121	1990～1993
天北農試	108	109	109	111	374	851	787	640	110	113	110	104	
新得畜試	110	104	101	111	406	1,010	758	782	130	107	93	102	
北見農試	111	88	103	117	445	943	639	663	115	109	92	117	
根釧農試	128	102	106	105	362	1,155	768	1,051	113	104	92	103	
平均	115	101	105	112	407	986	770	775	116	105	97	109	

注) 成績は乾物収量で「ヘイキングII」は実収量(kg/10a)、他は「ヘイキングII」対比(%)である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成6年普及奨励ならびに指導参考事項, 47-51(1994)。

6. メドーフェスク

- (1) トモサカエ (系統名 北海6号) 1988年
登録番号: (北海道) メドーフェスク北海道合第1号 (農水省) メドーフェスク農林合1号 (種苗法) 第2061号

来歴 本品種は農林水産省北海道農業試験場が、北海道及び本州中部以北(高冷地)に適し、永続性、越冬性、耐病性に優れた早生品種の育成を目標に、北海道生態型集団、保存栄養系多交配後代、育成系統、外国品種の選抜系統に由来する4栄養系による合成品種法によって育成した。1984年から各種の試験を行い、1988年に優良品種となった。

特性概要

- 1. 熟期は早生に属し、出穂期は「ファースト」と同程度か1日程度遅い。
- 2. 乾物収量は「ファースト」よりやや多収で、季節生産性は道東では1番草、本州では2番草以降に多収の傾向を示す。
- 3. 越冬性は「ファースト」、「タミスト」より優れ、道東の土壤凍結地帯における耐寒性でも「タミスト」と

同程度で「ファースト」よりやや優れている。耐雪性は「タミスト」と同じく強にランクされ「ファースト」より優れている。

- 4. 網斑病抵抗性は「ファースト」、「タミスト」より優れている。
- 5. 再生力が優れているため各放牧時の現存量が多い。採食程度、採食面積率は「ファースト」と同程度であり、放牧適性も良好である。
- 6. シロクローバとの混播ではマメ科率を低く抑えるので、マメ科優占草地の危険性は「ファースト」「タミスト」より少ない。オーチャードグラス、チモシーとの混播では、メドーフェスク収量及び合計収量に占めるメドーフェスクの比率が「ファースト」、「タミスト」より高い。
- 7. 飼料成分は粗繊維含量が「ファースト」、「タミスト」より低く、粗蛋白質含量がやや高いなど、品質的にやや優る傾向が見られる。

栽培適地と奨励態度

北海道全域及び本州中部以北の高冷地に適する。栽培利用上の注意は、放牧用、採草用及び兼用草地の混播用

草種として、オーチャードグラス、チモシー、シロクローバなどの混播に適する。チモシーとの混播では、播種

割合に注意する。メドーフェスク主体の放牧用草地にも利用できる。

試験場名	トモサカエ			ファースト			タミスト		
	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目
北海道農試	106	96	89	365	733	669	85	86	85
中央農試	-	100	99	-	958	1,238	-	91	98
天北農試	105	102	-	402	827	-	86	102	-
新得畜試	113	112	108	230	905	1,076	93	106	99
根釧農試	104	110	108	596	963	803	103	99	102

注 1) 試験年次は1984年～1987年である。

2) 成績は乾物収量で「ファースト」は実収量 (kg/10 a), 他は「ファースト」対比 (%)。

参照 1) 北海道農務部編, 昭和63年普及奨励並びに指導参考事項, 36-40(1988)。

(2) SB-M-8201 (原名 SB-M-8201) 1994年
登録番号: (北海道) メドーフェスク準北海道合
第6号

来歴 本品種は、雪印種苗株式会社が「ファースト」1,000個体、北海道生態型2,000個体を材料に個体選抜、栄養系形評価、多交配後代検定を行い選抜した7栄養系による合成品種法によって育成した。1991年より道内7場所で試験を行い、1994年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始めは「トモサカエ」と同等か1日程度早く、早生品種に属する。

2. 越冬性は「トモサカエ」より優れる。

3. 耐病性は、網斑病に対しては「トモサカエ」より弱く、「タミスト」並である。冠さび病、黒さび病、縁枯病に対しては「トモサカエ」並かやや弱い。

4. 収量性は、3年間合計乾物収量が「トモサカエ」対比で全道平均112と多収を示し、「トモサカエ」より優れる。

栽培適地と奨励態度

北海道全域に適する。栽培上の注意は、採草及び放牧に利用できる。越冬性は優れているが、道東の冬枯れの著しいところでは晩夏の追肥など十分な冬枯れ予防対策をとることが望ましい。

年次	品種名	北海道農試	中央農試	滝川畜試	天北農試	新得畜試	北見農試	根釧農試	平均		
									全道	道央	道東・北
1年目	SB-M-8201	100	97	120	114	107	117	110	109	106	112
	トモサカエ	405	473	307	511	575	317	585	453	395	497
	タミスト	62	70	79	105	85	103	102	87	70	99
2年目	SB-M-8201	131	121	117	114	107	102	113	115	123	109
	トモサカエ	706	1,091	1,221	939	832	917	1,001	958	1,006	922
	タミスト	120	104	98	106	100	106	107	106	107	105
3年目	SB-M-8201	114	116	114	104	113	103	113	111	115	108
	トモサカエ	686	1,077	1,026	763	646	780	903	840	930	773
	タミスト	105	88	95	104	98	87	99	97	96	97
3年間	SB-M-8201	118	115	116	110	109	105	112	112	116	109
	トモサカエ	1,797	2,641	2,554	2,213	2,053	2,014	2,489	2,252	2,331	2,192
	タミスト	103	91	94	105	95	98	103	98	96	100

注 1) 試験年次は1991年～1993年である。

2) 成績は乾物収量で「トモサカエ」は実収量(kg/10 a), 他は「トモサカエ」対比(%)である。

3) 平均の「道央」は北海道農試, 中央農試, 滝川畜試の3場所, 「道東・北」は天北農試, 新得畜試, 北見農試, 根釧農試の4場所の数字である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成6年普及奨励ならびに指導参考事項, 61-62(1994)。

(3) コマグリーン (系統名 MM-1-85) 1994年
登録番号：(北海道)メドーフェスク準北海道第7号

来歴 本品種は、三井東圧化学株式会社が早生型、草勢、莖葉大で多葉性、耐病性、耐倒伏性、冬枯れ及び夏枯れ抵抗性を主な選抜形質として、海外より導入した12品種を育種素材に集団選抜法により育成した。1991年より道内各場所で試験を行い、1994年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「トモサカエ」より1日程度早く、早生品種に属する。

2. 越冬性は「トモサカエ」と同程度かやや優れる。
3. 耐病性は、網斑病に対しては「トモサカエ」よりやや弱く、「タミスト」並かやや強い。冠さび病、黒さび病、緑枯病に対しては「タミスト」並かやや弱い。
4. 収量性は、3箇年合計乾物収量が「トモサカエ」対比で全道平均104を示し、特に道東・道北では107と「トモサカエ」より優れる。

栽培適地と奨励態度

北海道全域に適する。栽培上の注意は、採草及び放牧用に利用できる。越冬性はやや優れているが、道東の冬枯れの著しいところでは晩夏の追肥など十分な冬枯れ予防対策をとることが望ましい。

年次	品 種 名	北海道農試	中 央農試	滝 川畜試	天 北農試	新 得畜試	北 見農試	根 釧農試	平 均		
									全 道	道 央	道東・北
1 年 目	コマグリーン	69	65	85	109	98	120	111	94	73	110
	トモサカエ	405	473	307	511	575	317	585	453	395	497
	タミスト	62	70	79	105	85	103	102	87	70	99
2 年 目	コマグリーン	122	105	103	115	95	112	111	109	110	108
	トモサカエ	706	1,091	1,221	939	832	917	1,001	958	1,006	922
	タミスト	120	104	98	106	100	106	107	106	107	105
3 年 目	コマグリーン	107	92	102	105	106	98	114	103	100	106
	トモサカエ	686	1,077	1,026	763	646	780	903	840	930	773
	タミスト	105	88	95	104	98	87	99	97	96	97
3 年 間	コマグリーン	104	93	101	110	99	108	112	104	99	107
	トモサカエ	1,797	2,641	2,554	2,213	2,053	2,014	2,489	2,252	2,331	2,192
	タミスト	103	91	94	105	95	98	103	98	96	100

- 注 1) 試験年次は1991年～1993年である。
2) 成績は乾物収量で「トモサカエ」は実収量 (kg/10a)、他は「トモサカエ」対比 (%)。
3) 平均の「道央」は北海道農試、中央農試、滝川畜試の3場所、「道東・北」は天北農試、新得畜試、北見農試、根釧農試の4場所の数字である。

参照 1) 北海道農政編、平成6年普及奨励ならびに指導参考事項、62-64(1994)。

7. スムーズブロームグラス

(1) アイカップ (系統名 北見1号) 1987年
登録番号：(北海道)スムーズブロームグラス北海道合第1号(農水省)スムーズブロームグラス農林合1号(種苗法)第1827号

来歴 本品種は、北海道立北見農業試験場が北海道及び東北地方に適する多収で、褐斑病に強く、採種性に優れた品種の育成を目標に、13親榮養系による合成品種法により育成した品種で、1983年から「北見1号」の系統

名で各種の試験を行い、1987年に優良品種となった。

特性概要

1. 「アイカップ」の収量は概ね「サラトガ」並かやや高く、播種年からの収量推移では年数の経過に伴い「サラトガ」より収量が高くなる傾向を示す。季節別の生産性は北海道では「サラトガ」とほぼ同じである。乾物率は「サラトガ」に比較し1.2番草で約1.0%低い値を示した。
2. 北海道における出穂始は「サラトガ」と同じ6月7日で、出穂期は「サラトガ」よりやや早い6月14日で

- あり、「サラトガ」と同じ中生に属する。
3. 褐斑病及び立枯病に対して「サラトガ」よりやや低い罹病性を示し、雲形病に対しては「サガトラ」と同じく中程度の抵抗性を有する。
 4. 草型は「サラトガ」に比較してややほふく型である。出穂期における草丈は「サラトガ」とほぼ同じで、茎はやや細く、穂軸の節数がやや多い。また、「サラトガ」に比べ出穂茎が多い。
 5. 越冬性及び刈取り後の再生は「サラトガ」とほぼ同程度で栽培上問題はない。施肥反応はおおよそ「サラトガ」と同じであるが、施肥量が少ない場合は「サラトガ」よりやや収量が低い。アルファルファとの混播では「サラトガ」とほぼ同じ混生比を維持する。
 6. 放牧における草量、採食性及び放牧後の再生は「サラトガ」とほぼ同程度であるが、採食性ではチモシー

- の「クンプウ」にやや劣り、草量はオーチャードグラスの「オカミドリ」よりやや少ない。
7. 「サラトガ」とほぼ同程度の耐寒性を有しており、土壤凍結地帯における栽培に問題はない。
 8. 「サラトガ」に比較して粗繊維含量がやや高く、粗灰分含量がやや低いが、その差は小さい。その他の成分含量の差は極めて小さく、飼料成分は「サラトガ」とほぼ同じである。

栽培適地と奨励態度

北海道全域に適する。栽培利用上の注意は、採草利用を主体とする。施肥量が少ない場合生育がやや劣ることから、オーチャードグラス主体草地の北海道施肥標準を準用する。本草種は立枯病の発生が懸念されることから、当面、土壤乾燥地帯での栽培とする。

項目	試験場名	アイカップ	北見3号	北見6号	サラトガ	ビーコン	クンプウ	オカミドリ	年次
2年間 合計 乾物収量	根釧農試	133	99	89	1,420	-	135	-	1985-1986
	北見農試	91	93	92	1,831	95	99	84	
	新得畜試	114	85	84	1,832	-	126	-	
	天北農試	101	98	95	1,737	103	100	102	
	北海道農試	87	86	97	1,637	97	95	82	

注) 「サラトガ」は実収量 (kg/10a) で、その他は「サラトガ」対比 (%) である。

- 参照 1) 北海道農務部編, 昭和62年普及奨励ならびに指導参考事項, 62-65(1987).
2) 下小路英男 等, 北海道立農試集報, 57, 35-48(1988).

8. ペレニアルライグラス

(1)ファントム (原名 Fantoom) 1992年

登録番号: (北海道) ペレニアルライグラス準輪
合第4号

来歴 本品種は、オランダの Mommersteeg International B.V. が10栄養系を基に合成品種法により育成した。ホクレン農業協同組合連合会が導入し、1989年から道内4場所で試験を行い、1992年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「リベール」に比べ同程度ないし3日遅い中生種である。
2. 越冬性は「リベール」に比べ優る。

3. 耐病性は「リベール」に比べ、網斑病は同程度であるが、雪腐小粒菌核病、冠さび病には強い。
4. 収量性は「リベール」並である。
5. 永続性は「リベール」並である。
6. 季節生産性は、「リベール」と比較すると3・4番草は高いが、年間乾物収量の時期別構成比は大差なく、秋の生産性は「リベール」並である。

栽培適地と奨励態度

道北・道央・道南の土壤凍結のない地帯に適する。栽培上の注意は、放牧利用とする。出穂すると採食性が劣るので、年間6～7回以上の短草利用する。

品 種 名	試 験 場 名	乾物収量	永 続 性 (収 量)		番 草 別 収 量 (2・3年計)		
		3年間計	2・3年計	3年目/2年目	1-2番	3-4番	5番
フ ェ ン ト ム	北海道農試	99	99	71	94	103	108
	中央農試	99	101	67	102	103	94
	滝川畜試	103	103	68	102	104	105
	天北農試	103	103	77	101	111	100
	平均	101	102	71	100	105	102
リ ベ ー ル	北海道農試	1,995	1,337	71	759	335	241
	中央農試	2,070	1,587	64	778	439	370
	滝川畜試	2,745	1,921	72	905	504	514
	天北農試	1,942	1,504	75	525	389	590
	平均	2,188	1,587	71	742	417	429

注 1) 試験年次は1989年～1991年である。

2) 「リベール」は実収量 (kg/10a) で、「フェントム」は「リベール」対比 (%) である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成4年普及奨励ならびに指導参考事項, 45-47(1992)。

(2) トーブ (原名 Tove) 1992年

登録番号: (北海道) ペレニアルライグラス準輸
第5号

来歴 本品種はデンマークのDanish Plant Breeding Ltd.において2倍体品種「Lenta」を材料として、生育型と収量について選抜を行い、選抜団体を倍数化して育成した4倍体品種である。三井東圧化学株式会社が導入し、1989年から道内4場所で試験を行い、1992年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「リベール」に比べて2～3日遅い中生種である。

2. 越冬性は「リベール」並である。

3. 耐病性は「リベール」に比べて、網斑病に強く、冠さび病にはやや強い。

4. 収量性は「リベール」に比べ多収である。

5. 永続性は「リベール」に比較して、2年目乾物収量に対する3年目収量が高く、優れている。

6. 季節生産性は、年間の乾物収量構成比では「リベール」と大差ないが、時期別乾物収量は5番草以降で高く、秋の生産性は優れている。

栽培適地と奨励態度

道北・道央・道南の土壤凍結のない地帯に適する。栽培利用上の注意は、放牧利用とする。出穂すると採食性が劣るので、年間6～7回以上の短草利用する。

品 種 名	試 験 場 名	乾物収量	永 続 性 (収 量)		番 草 別 収 量 (2・3年計)		
		3年間計	2・3年計	3年目/2年目	1-2番	3-4番	5番
ト ー ブ	北海道農試	99	103	74	100	104	110
	中央農試	105	104	71	104	98	112
	滝川畜試	106	108	71	112	105	104
	天北農試	107	106	79	100	111	109
	平均	104	105	74	104	105	109

品種名	試験場名	乾物収量	永続性(収量)		番草別収量(2・3年計)		
		3年間計	2・3年計	3年目/2年目	1-2番	3-4番	5番
リベール	北海道農試	1,995	1,337	71	759	335	241
	中央農試	2,070	1,587	64	778	439	370
	滝川畜試	2,745	1,921	72	905	504	514
	天北農試	1,942	1,504	75	525	389	590
	平均	2,188	1,587	71	742	417	429

注 1) 試験年次は1989年～1991年である。
 2) 「リベール」は実収量 (kg/10 a) で「トープ」は「リベール」対比 (%) である。

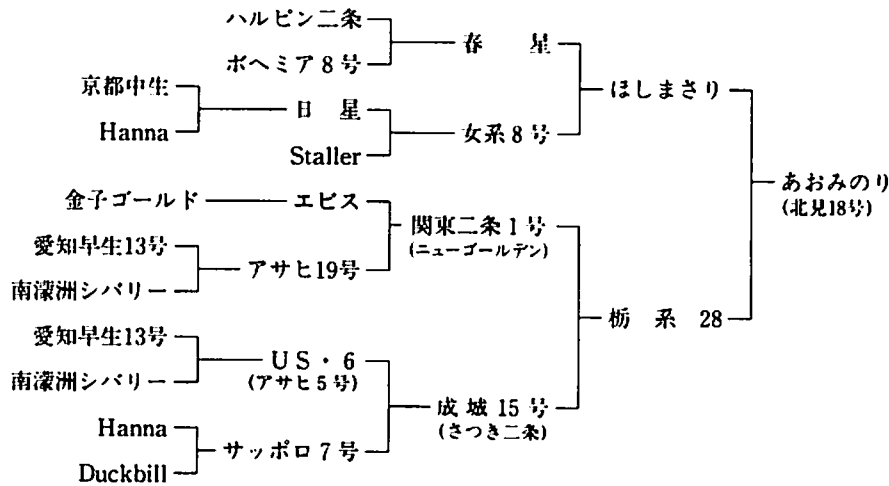
参照 1) 北海道農政部編, 平成4年普及奨励ならびに指導参考事項, 47-49(1992)。

9. 飼料用大麦

(1) あおみのり (系統名 北見18号) 1987年
 登録番号: (北海道) 大麦(飼) 北海道春第3号
 (種苗法) 第1852号

来歴 本品種は、1973年に北海道立北見農業試験場において、多収の「ほしまさり」を母、短強稈で多収の「栃系28」を父として交配し、その雑種後代から育成された。

1977年より「北系5259」、1979年からは「北見18号」の系統名で各種の試験を行った。1980年から北海道立天北農業試験場において飼料用としての適否を検討し、さらに、1984年からは関係機関並びに現地で試験を行い、1987年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 株の形態は閉じており、葉色はやや濃く、稈長は「ほしまさり」より短い。穂長は「ほしまさり」よりやや長い。穂数はやや少なく、1穂粒数はやや多い。
2. 穂型は矢羽根型で、穂の抽出度は「ほしまさり」より少なく中程度である。穂には長芒があり、稈の色は淡黄である。
3. 粒型は中で、粒は大粒であり、千粒重は大きく、リットル重は「ほしまさり」とほぼ同等のやや大で、原麦粒の見かけの品質は中の上である。

4. 出穂期は「ほしまさり」とほぼ同じで、成熟期は「ほしまさり」より1日程度遅く、中生に属する。
5. 耐倒伏性は「ほしまさり」のやや弱に対して、やや強で明らかに強い。大麦雲形病抵抗性及び大麦網斑病抵抗性は「ほしまさり」よりやや弱い。
6. 成熟期における総重、子実重は「ほしまさり」よりやや多く、子実重歩合は「ほしまさり」より高い。
7. ホールクロップサイレージの調製時期は糊熟期が適期であるが、糊熟期ホールクロップの乾物収量は「ほしまさり」と同等で、種重歩合は「ほしまさり」より

高い。乾物中の粗蛋白質、粗脂肪、粗繊維、NFE、乾物消化率は「ほしまさり」とほぼ同等である。

栽培適地と奨励態度

北海道全域に適し、ホールクロップサイレージ用とし

て利用する。栽培上の注意は、播種法は当面各試験地の標準的な耕種法を準用する。従来の春播き大麦同様、早期播種を励行する。大麦網斑病にやや弱いので、種子消毒を徹底し、連作を避ける。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	糊熟期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	倒 伏 程 度	生草収量 (kg/a)	乾物収量 (kg/a)	対標準比 (%)	穂重歩合 (%)
天北農試	あおみのり	7.14	8.8	92	6.4	508	無	239	83.1	98	46.2
	ほしまさり	7.15	8.8	100	5.9	546	微	258	84.8	100	40.8
根釧農試	あおみのり	7.15	8.8	101	6.8	486	微	257	84.3	100	38.9
	ほしまさり	7.15	8.8	100	6.3	567	中	258	84.5	100	37.5
新得畜試	あおみのり	7.8	7.30	98	6.8	403	少	338	84.7	102	32.0
	ほしまさり	7.8	7.30	101	6.7	419	甚	328	83.4	100	30.0
滝川畜試	あおみのり	6.26	7.18	71	6.8	408	無	202	74.8	99	48.5
	ほしまさり	6.26	7.18	82	6.1	468	微	198	75.7	100	51.1

注 1) 成績は標準栽培の数値である。
2) 試験年次：天北農試は1981年～1986年、他は1984年～1986年である。

参照 1) 北海道農務部編、昭和62年普及奨励ならびに指導参考事項、49-56(1987)。

10. 飼料用ビート

(1) ソランカ (原名 ソランカ) 1989年

登録番号：(北海道)飼料用ビート準輸第1号

来歴 本品種は、西ドイツKWS社が育成した遺伝的単胚品種である。タキイ種苗株式会社が導入し1986年から各種の試験を行い、1989年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平で、葉形はやや楕円形である。根体の色は地上部が淡黄緑色、地下部は白、肉色は白である。根長は「シュガーマンゴールド」に比べ短く、根周はやや大きい。根型は短紡錘型である。根部の露出歩合は「シュガーマンゴールド」と同程度である。
2. 根部の生収量は「シュガーマンゴールド」に比べやや劣るが、移植・直播とも乾物率が高く、根部の乾物

収量は「シュガーマンゴールド」並かやや優る。

3. 「シュガーマンゴールド」に比べ、根部における乾物中の粗灰分、粗繊維、粗蛋白質は少なく、可溶無窒素物は多い。茎葉部はほぼ同等で、根中糖分は高い。
4. 褐斑病に対しては「シュガーマンゴールド」よりやや弱く、根腐症状はやや多い。抽苔性は「シュガーマンゴールド」より優るが、やや弱い。貯蔵性は「シュガーマンゴールド」並である。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培利用上の注意は、褐斑病に弱いので、発生に注意する。根腐症状がやや多いので、多湿圃場での栽培は避ける。抽苔耐性がやや弱いので、移植栽培における育苗中の温度管理に留意する。また、長期育苗を避ける。

栽培法	試験場名	品 種 名	病 害		抽苔率 (%)	生 収 量 (kg/10 a)		乾 物 率 (%)		乾 物 収 量 (kg/10 a)			根 中 糖 分 (%)
			葉部 病害	根腐 症状 株率 (%)		茎	葉	根	茎	葉	根	左比(%)	
直	根釧農試	ソ ラ ン カ	1.0	9.4	0.8	4,517	3,934	11.5	15.2	509	598	97	11.09
		シュガーマンゴールド	0.7	3.0	4.8	4,112	5,097	11.3	12.1	452	617	100	8.74
		M . G . M	0.3	1.2	0.5	5,021	3,785	11.5	16.3	569	619	101	11.45
播	中央農試	ソ ラ ン カ	17.8	4.6	-	2,632	7,525	12.0	13.9	317	1,060	111	-
		シュガーマンゴールド	13.8	6.8	-	2,085	8,185	11.8	11.7	247	970	100	-
		M . G . M	13.3	4.0	-	3,021	7,165	11.4	14.9	346	1,074	112	-

栽培法	試験場名	品 種 名	病 害		抽苔率 (%)	生 収 量 (kg/10a)		乾 物 率 (%)		乾 物 収 量 (kg/10a)			根 中 糖 分 (%)
			葉 部 病 害	根腐症 状株率 (%)		茎 葉	根	茎 葉	根	茎 葉	根	左比(%)	
移	根釧農試	ソ ラ ン カ	1.1	3.0	7.0	4,094	6,440	12.1	15.9	497	1,026	110	11.48
		シュガーマンゴールド	0.8	0.0	16.2	3,479	6,900	12.0	13.6	415	934	100	9.42
		M . G . M	0.5	0.2	2.2	4,664	5,610	11.7	16.7	547	935	100	11.91
植	中央農試	ソ ラ ン カ	25.7	12.2	-	1,948	9,661	12.4	14.3	242	1,397	118	-
		シュガーマンゴールド	8.6	6.3	-	1,529	9,845	12.6	11.9	193	1,173	100	-
		M . G . M	7.2	6.3	-	2,922	8,572	11.3	15.4	322	1,327	113	-

注) 葉部病害は根釧農試は主に斑点病指数、中央農試は褐斑病発病株率 (%) である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成元年普及奨励ならびに指導参考事項, 38-39(1989)。

(2) モノバール (原名 モノバール) 1990年

登録番号: (北海道) 飼料用ビート準輸第2号

来歴 本品種は、オランダのツワン・ピーテンB.V社が育成した三倍体の遺伝的単胚品種で、雪印種苗株式会社が導入し、1986年から各種の試験を行い、1990年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平で、葉形はやや楕円形である。根体の色は地上部が淡黄緑色、地下部は白、肉色は白である。根長は「ソランカ」より長く、根周はやや小さい。根形はクサビ型である。根部の露出歩合は「ソランカ」と同程度である。

2. 根部の生収量は「ソランカ」より多く、乾物率がやや低いが、根部の乾物収量は「ソランカ」と同程度かやや優る。茎葉重は同程度である。
3. 粗蛋白質、粗脂肪、粗繊維、粗灰分、可溶無窒素物の乾物中の含有量は、茎葉部、根部とも「ソランカ」と比較して大差はない。根中糖分はやや低い。
4. 褐斑病に対しては「ソランカ」と同程度に弱く、根腐症状はやや少ない。
5. 抽苔耐性は「ソランカ」よりかなり強い。
6. 貯蔵性は「ソランカ」並である。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培利用上の注意は、褐斑病に弱いので連作をさける。

栽培法	試験場名	品 種 名	病 害		抽苔率 (%)	生 収 量 (kg/10a)		乾 物 率 (%)		乾 物 収 量 (kg/10a)			根 中 糖 分 (%)
			葉 部 病 害	根腐症 状株率 (%)		茎 葉	根	茎 葉	根	茎 葉	根	左比(%)	
直	根釧農試	モノバール	1.2	4.2	0.1	4,304	4,090	10.9	15.0	462	612	107	10.6
		ソ ラ ン カ	1.0	8.4	0.8	4,259	3,712	11.2	15.4	472	574	100	11.0
		シュガーマンゴールド	0.8	3.0	3.5	3,980	5,000	10.9	12.3	419	618	108	8.7
播	中央農試	モノバール	0.2	3.7	-	2,426	8,231	10.8	11.1	260	903	98	-
		ソ ラ ン カ	0.3	5.0	-	2,492	7,492	11.6	12.4	290	923	100	-
		シュガーマンゴールド	0	4.1	-	2,216	8,612	11.0	10.5	244	903	98	-
移	根釧農試	モノバール	1.0	4.0	0.4	4,096	6,517	12.2	15.1	495	987	103	11.0
		ソ ラ ン カ	1.0	7.4	7.3	3,782	6,041	12.3	15.9	467	957	100	11.4
		シュガーマンゴールド	0.7	1.0	15.8	4,179	6,902	12.4	13.5	390	928	97	8.9
植	中央農試	モノバール	0.3	9.3	-	2,523	10,165	10.5	11.7	265	1,184	104	-
		ソ ラ ン カ	0.3	7.8	-	2,527	9,009	10.8	12.7	276	1,137	100	-
		シュガーマンゴールド	0.2	2.9	-	2,144	9,578	11.1	11.5	238	998	88	-

注 1) 試験年次は根釧農試: 1986~1987年と1989年, 中央農試は1986年と1989年である。

2) 葉部病害は褐斑病指数, 但し根釧農試の1987年は斑点病指数である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成2年普及奨励ならびに指導参考事項, 78-79(1990)。